

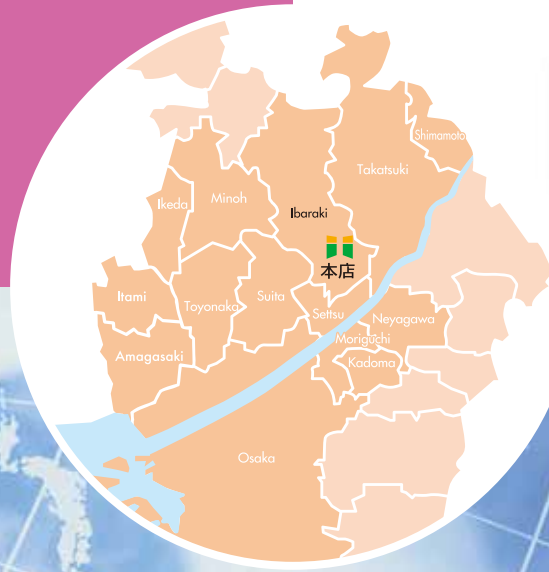
The Kita Osaka Shinkin Bank

北おおさか信用金庫

# 景況レポート

2020年4~6月期 No.26

# Business Condition Report

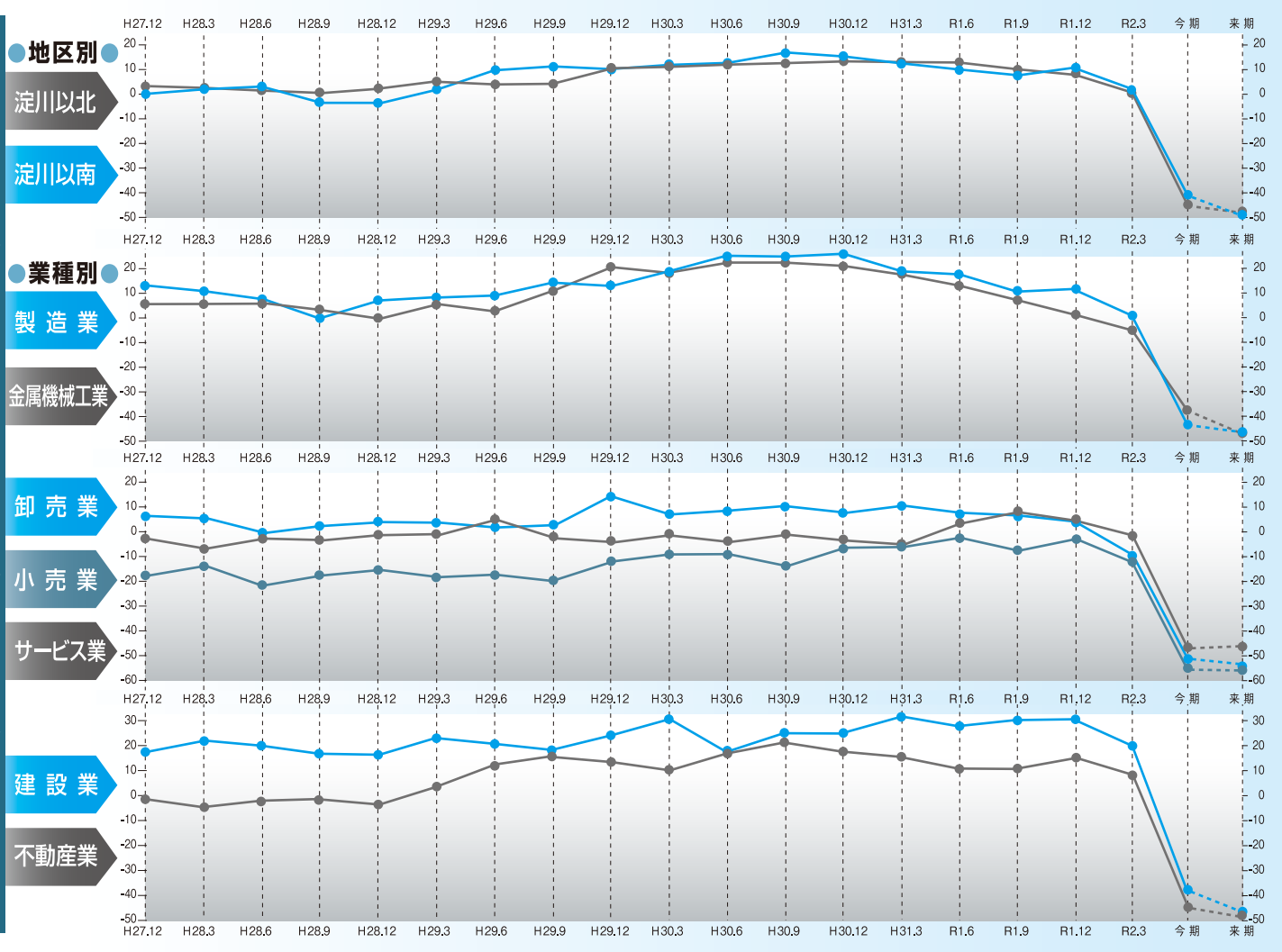


この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫



地区別・業種別 業況判断Dの推移



INDEX

地区別・業種別 業況判断DI 来期予想までの推移・目次……………1

調査概要……………2

全業種総合……………3・4

製造業……………5

金属機械工業……………6

卸売業……………7

小売業……………8

サービス業……………9

建設業……………10

不動産業……………11

特別調査「新型コロナウイルス感染拡大の業績への影響について」  
12・13・14

**〈調査概要〉** 調査対象……………地元企業1,200社(有効回答1,200社)  
 調査時期……………2020年6月  
 調査対象期間…2020年4月～6月期 当期の実績(2020年1月～3月期との比較)  
                   2020年7月～9月期 来期の見通し(2020年4月～6月期との比較)  
 調査方法……………当金庫職員による調査表に基づく聞き取り調査  
 分析方法……………DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

●DIとは

各調査項目について「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽・容易」の回答割合から、「悪い」「減少」「低下」「不足」「苦しい・難しい」の回答割合を差引いた数値です(普通、変わらず、適正は除外しております)。

(例) 良い10%、やや良い20%、普通30%、やや悪い15%、悪い25%の場合

①良い = 良い10% + やや良い20% = 30%

②悪い = 悪い25% + やや悪い15% = 40%

DI = ① - ② = ▲10

●調査内容と注意点

- (1) 売上額、収益、受注残高、販売・仕入価格、在庫、資金繰り、残業時間は前期と比べた当期の状況(来期見通しは当期と比べた来期予想)です。
- (2) 業況、人手、借入の難易度は、前期比ではなく、その時点での状況です。

●各判断DIが示す内容

	(プラス)	(マイナス)
業 況	現状 「良い」	現状 「悪い」
売上額・収益	前期比「増加」	前期比「減少」
受注残高・残業時間	前期比「増加」	前期比「減少」
販売価格・仕入価格	前期比「価格上昇」	前期比「価格下降」
(原材料)在庫	前期比「過剰」	前期比「不足」
資金繰り	前期比「楽」	前期比「苦しい」
人 手	現状 「過剰」	現状 「不足」
借入の難易度	現状 「容易」	現状 「難しい」

※DIプラスが良いとは限りません(例:仕入価格判断DIプラスは前期比価格上昇)

■対象企業の業種・従業員別構成

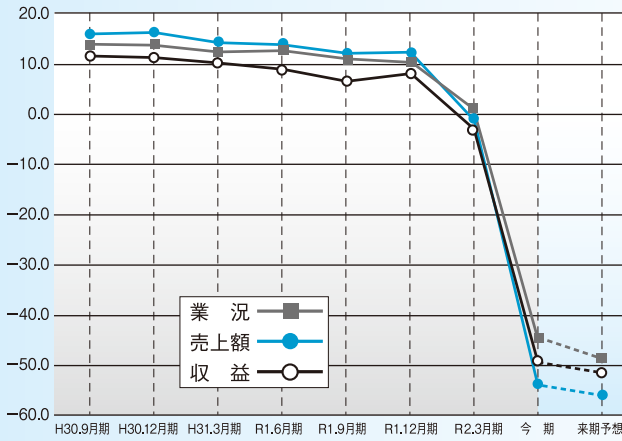
	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上	合 計(構成比)	
製 造 業	37	48	48	25	19	14	9	200	16.7%
金属機械工業	46	59	41	25	19	4	6	200	16.7%
卸 売 業	42	27	20	15	9	5	2	120	10.0%
小 売 業	86	24	17	5	7	8	3	150	12.5%
サービス業	54	38	35	13	28	22	10	200	16.7%
建 設 業	59	58	54	17	5	5	2	200	16.7%
不 動 産 業	86	29	10	1	3	0	1	130	10.8%
合 計	410	283	225	101	90	58	33	1,200	100.0%
(構成比)	34.2%	23.6%	18.8%	8.4%	7.5%	4.8%	2.8%	100.0%	—

\*製造業の構成比が他5業種と比較して大きいため、製造業のうち金属機械工業を1業種として分割しております。

●調査地域

淀川以北:島本町、高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、豊中市、箕面市、池田市、伊丹市、尼崎市、東淀川区、淀川区、西淀川区 他 淀川以北  
 淀川以南:寝屋川市、門真市、守口市、北区、西区、中央区、城東区、旭区、住吉区、此花区、福島区 他 淀川以南

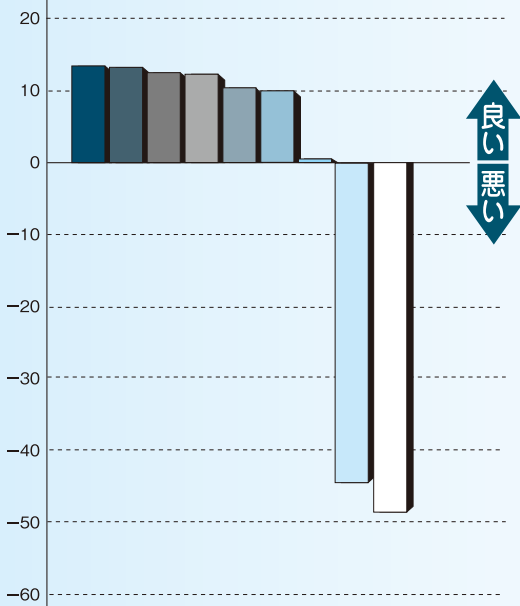
■ 業況・売上額・収益



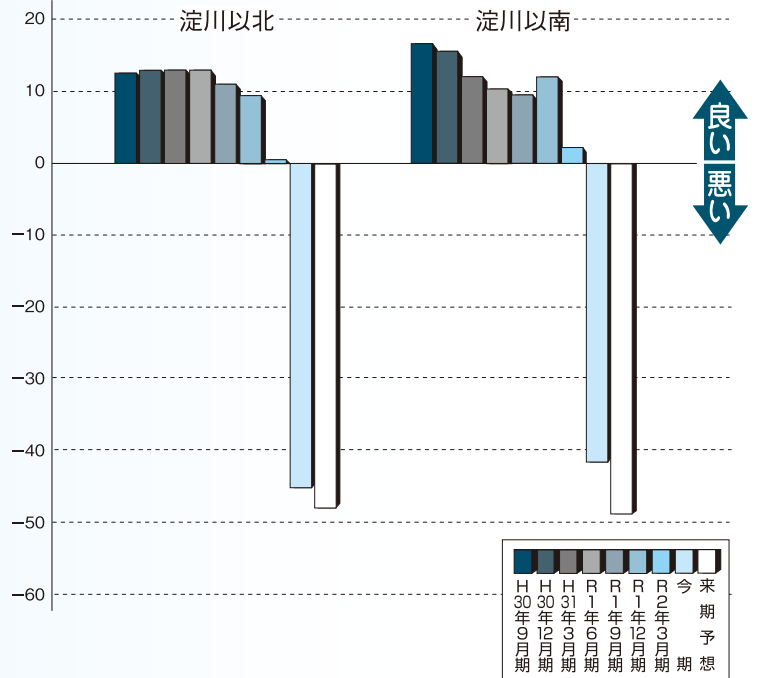
■ 全業種総合 DI値の推移

	H30.9月期	H30.12月期	H31.3月期	R1.6月期	R1.9月期	R1.12月期	R2.3月期	今期	来期予想
業況	13.8	13.6	12.7	12.5	10.6	10.0	0.7	-44.6	-48.2
売上額	15.9	16.2	14.4	14.1	11.8	12.0	-1.6	-53.7	-55.8
受注残	20.8	23.7	23.5	17.1	11.1	14.1	1.1	-46.8	-53.1
施工高	17.0	23.0	28.5	25.0	25.0	30.5	11.5	-33.8	-39.3
収益	11.5	11.1	10.0	8.7	6.3	7.9	-2.8	-49.6	-51.0
販売価格	4.5	5.1	6.1	5.2	4.9	7.4	3.3	-8.0	-9.0
原材料・仕入価格	11.4	12.6	13.7	13.7	11.6	14.1	9.3	0.8	-0.6
在庫	-2.5	-1.6	-1.9	-0.9	-1.5	-0.5	-1.5	-3.7	-4.2
資金繰り	-0.3	0.0	-0.5	0.7	0.2	0.0	-3.7	-20.3	-19.2
従業員残業時間	8.2	8.8	9.3	7.3	5.7	6.1	2.5	-26.4	-24.0
従業員人手	-20.3	-20.6	-21.9	-20.8	-20.5	-20.2	-17.6	-6.2	-6.7
設備状況	-7.2	-7.2	-8.1	-8.0	-7.8	-7.5	4.4	-4.8	-4.4

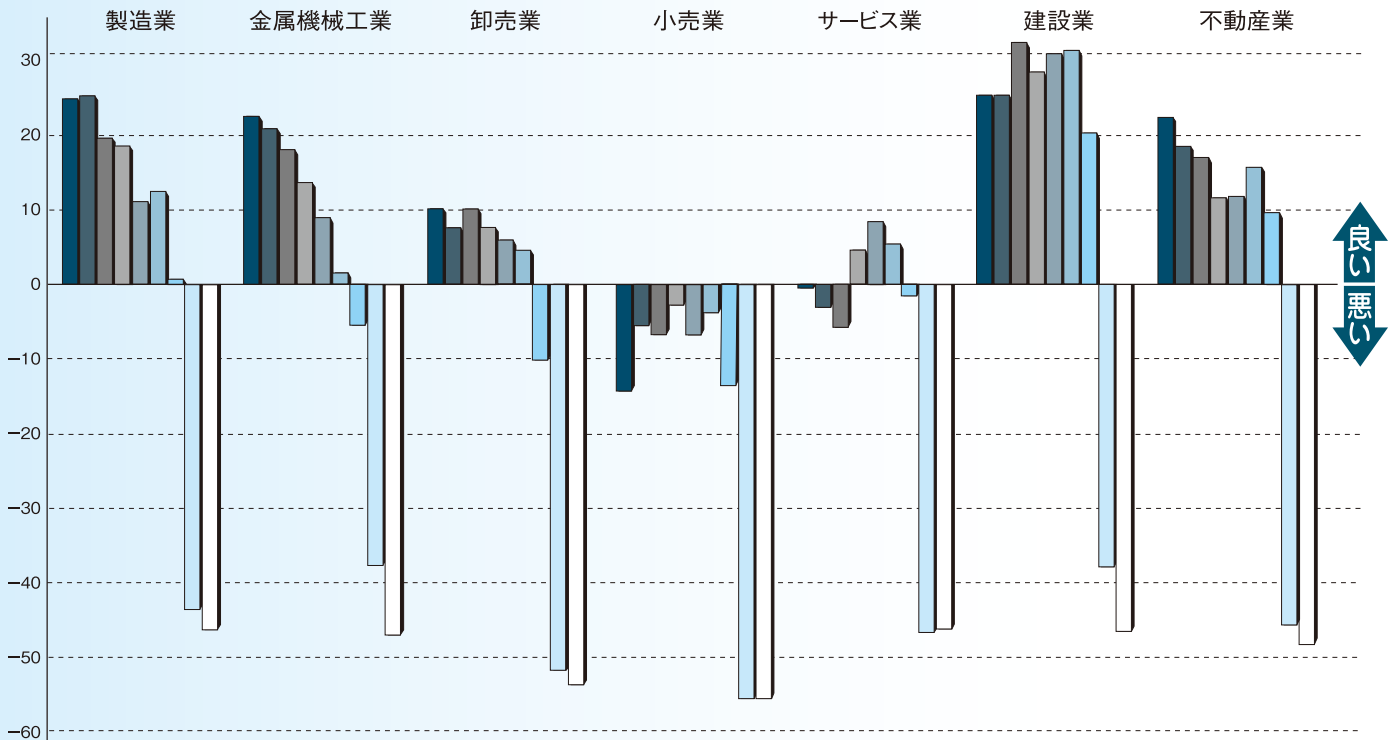
■ 全体業況判断DI



■ 地区別業況判断DI



■ 業種別業況判断DI



## 業況について

### 2020年4月～6月期 ～業況は前期比45.3ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、全業種の業況判断(DI)は▲44.6(前期比45.3ポイント減)となり、悪化幅は調査を開始した2009年以降、最も大きかった2014年4月の消費増税(5%→8%)直後の6月調査(前期比10.5ポイント減)を超える過去1番の悪化となった。

来期予想の業況判断(▲48.2)は、さらに悪化するとの見通しとなっている。

#### 《業種別》

##### 一 全業種でかなり大幅に悪化。建設業58.0ポイント悪化、不動産業54.5ポイント悪化など一

全業種30ポイント以上の悪化。業種別にみると50ポイント以上悪化したのは「建設業」▲38.0(前期比58.0ポイント減)、「不動産業」▲45.3(同54.5ポイント減)。40以上50ポイント未満では、「サービス業」▲47.0(同45.5ポイント減)、「製造業」▲43.0(同43.5ポイント減)、「小売業」▲55.3(同42.0ポイント減)、「卸売業」▲51.7(41.7ポイント減)。30以上40ポイント未満では「金属機械工業」▲37.5(同32.5ポイント減)となった。

##### ～淀川以北地域、淀川以南地域ともかなり大幅に悪化～

地域別にみると、淀川以北地域の業況判断(DI)は▲45.4(前期比45.7ポイント減)となりかなり大幅な悪化となった。淀川以南地域も同▲41.6(前期比43.8ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。淀川以北地域の業種別では、建設業(前期17.6→今期▲40.3)、不動産業(同7.0→同▲43.4)、サービス業(同▲1.9→同▲50.3)、卸売業(同▲11.0→同▲58.5)、製造業(同2.0→同▲43.6)、小売業(同▲11.1→同▲49.1)、金属機械工業(同▲7.4→同▲39.5)、いずれもかなり大幅な悪化となった。淀川以南地域の業種別では、不動産業(前期16.1→今期▲51.6)、建設業(同30.5→同▲27.8)、小売業(同▲21.2→同▲76.5)、製造業(同▲3.9→同▲41.1)、金属機械工業(同5.2→同▲28.9)、サービス業(同0.0→同▲34.1)、卸売業(同▲7.9→同▲36.8)、いずれもかなり大幅な悪化となった。

来期の業況判断予想の淀川以北地域(▲45.7)、淀川以南地域(▲43.8)と、依然として厳しい見通しとなっている。

## 売上額・収益の動き

### ～売上額前期比52.1ポイント悪化など、売上額、収益ともに過去1番のかなり厳しい悪化～

売上額判断(DI)は▲53.7(前期比52.1ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。低下幅は過去1番であった2014年6月調査(前期比▲16.7)を超え、最低下幅を更新した。収益判断(DI)は▲49.6(前期比46.8ポイント減)となり、売上高同様にかなり大幅な悪化となった。低下幅は前期の過去1番の低下幅(▲10.7)を超え、最低下幅を更新した。売上高、利益ともに過去1番の低下幅となった。

来期予想の売上額判断(▲55.8)、収益判断(▲51.0)と、依然として厳しい見通しとなっている。

## 販売価格・原材料・仕入価格の動き

### ～販売価格は大幅に悪化、原材料(仕入)価格は改善～

販売価格判断(DI)は▲8.0(前期比11.3ポイント減)となり、大幅な悪化となった。原材料・仕入価格判断(DI)は0.8(前期比8.5ポイント減)となり改善となった。来期予想の販売価格判断(▲9.0)は、小幅な悪化の見通しとなっている。原材料・仕入価格判断(▲0.6)は、小幅な改善の見通しとなっている。

## 資金繰り・雇用面の動き

### ～資金繰りはかなり大幅に悪化、人手は大幅に改善～

資金繰り判断(DI)は▲20.3(前期比16.6ポイント減)となりかなり大幅な悪化となった。人手判断(DI)は▲6.2(前期比11.4ポイント増)となり、大幅な改善となった。人手過剰とする企業の割合は前期(1.8%)→今期(5.5%)、適正とした企業の割合は前期(78.8%)→今期(82.8%)、不足とする企業の割合は前期(19.4%)→今期(11.7%)となった。

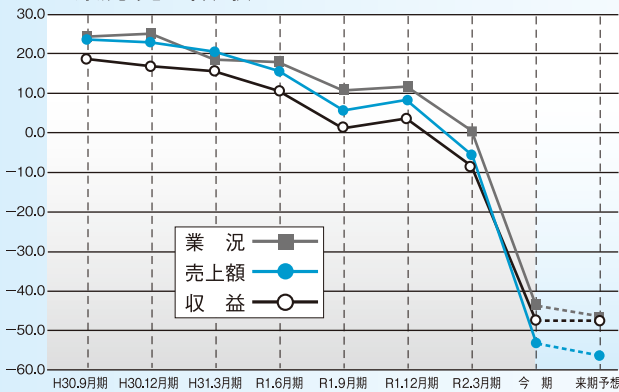
## 経営上の問題点

	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	売上の停滞・減少	50.5%	同業者間の競争の激化	45.0%	人手不足	23.0%	利幅の縮小	22.0%	工場・狭小、機械の老朽化	12.5%
金属機械工業	同業者間の競争の激化	40.5%	売上の停滞・減少	39.0%	●人手不足 ●利幅の縮小	25.5%	工場・狭小、機械の老朽化	14.5%	原材料・料金価格高	12.0%
卸売業	売上の停滞・減少	51.7%	同業者間の競争の激化	49.2%	利幅の縮小	18.3%	輸入品との競争の激化	14.2%	●人手不足 ●販売商品の不足	10.0%
小売業	売上の停滞・減少	55.3%	大型店との競争激化	38.0%	同業者間の競争の激化	31.3%	商店街の集客力の低下	24.7%	商圏人口の減少	17.3%
サービス業	同業者間の競争の激化	49.5%	売上の停滞・減少	48.0%	人手不足	24.5%	利幅の縮小	17.5%	人件費の増加	16.5%
建設業	同業者間の競争の激化	44.5%	売上の停滞・減少	42.0%	人手不足	32.0%	下請けの確保難	27.5%	利幅の縮小	21.5%
不動産業	商品物件の不足	55.4%	同業者間の競争の激化	48.5%	売上の停滞・減少	41.5%	商品物件の高騰	26.9%	利幅の縮小	24.6%

## 当面の重点経営施策

	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	販路を広げる	58.5%	経費を節減	50.0%	情報力を強化	28.0%	新製品・技術を開発	22.5%	人材確保	19.0%
金属機械工業	販路を広げる	56.0%	経費を節減	55.0%	人材確保	28.0%	情報力を強化	25.5%	提携先を見つける	15.0%
卸売業	販路を広げる	67.5%	経費を節減	50.8%	情報力を強化	31.7%	品揃えを充実	23.3%	提携先を見つける	14.2%
小売業	経費を節減	56.7%	宣伝・広告を強化	46.7%	売れ筋商品を取扱う	32.0%	品揃えを充実	26.7%	商店街事業を活性化	24.7%
サービス業	経費を節減	55.5%	販路を広げる	50.5%	宣伝・広告を強化	30.0%	人材確保	21.5%	提携先を見つける	13.5%
建設業	経費を節減	51.5%	人材確保	48.0%	販路を広げる	47.0%	情報力を強化	31.0%	技術力を強化	22.5%
不動産業	情報力を強化	73.8%	経費を節減	43.8%	販路を広げる	38.5%	宣伝・広告を強化	36.9%	●提携先を見つける ●不動産の有効活用	9.2%

業況・売上額・収益



製造業 DI値の推移

	H30.9月期	H30.12月期	H31.3月期	R1.6月期	R1.9月期	R1.12月期	R2.3月期	今期	来期予想
業況	25.0	25.5	19.5	18.5	10.5	12.0	0.5	-43.0	-46.5
売上額	24.0	23.0	21.0	16.0	5.5	8.0	-6.0	-53.5	-55.0
受注残	24.0	22.0	19.5	13.0	4.5	7.5	-5.0	-49.5	-51.5
収益	19.5	17.5	16.0	10.5	1.0	3.5	-8.0	-47.5	-47.5
販売価格	6.0	5.5	6.5	7.0	2.5	3.5	-1.5	-7.0	-6.0
原材料価格	10.5	12.5	15.5	16.5	10.0	13.5	9.5	3.0	1.5
在庫	0.5	3.0	3.0	3.5	3.0	2.5	1.0	-0.5	-1.0
資金繰り	6.5	11.5	5.0	6.5	0.0	4.5	-1.0	-16.5	-11.0
従業員残業時間	13.0	12.0	14.0	8.5	3.5	6.5	1.0	-28.5	-29.0
従業員人手	-22.0	-22.5	-22.5	-23.5	-22.0	-24.5	-23.0	-9.5	-7.0
設備状況	-12.5	-11.0	-13.5	-12.5	-12.5	-9.0	-7.0	-6.5	-7.0

業況について

2020年4月～6月期 ～業況は前期比43.5ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、製造業の業況判断(DI)は▲43.0(前期比43.5ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった(前期比43.5ポイントの低下は調査開始以来最も大きい)。

来期は更にDIの低下を予想しており業況の悪化はさらに強まる気配が伺われる。

最多納入先別にみる業況判断(DI)では、「小売・最終需要家向け」(前期29.4→今期▲50.0)、「中小メーカー向け」(同▲3.5→同▲44.2)、「大メーカー向け」(同0.0→同▲38.3)、「問屋・商社向け」(同0.0→同▲40.9)と、かなり大幅な悪化となった。

来期予想の業況判断(▲46.5)は、依然として厳しい見通しとなっている。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	22	47	113	18
良い～悪い	-86	-9	-18	-50	-9
DI	-43.0	-40.9	-38.3	-44.2	-50.0

売上額・収益・受注残の動き

～売上額、収益、受注残ともに過去1番のかなり大幅な悪化～

売上額判断(DI)は▲53.5(前期比47.5ポイント減)、収益判断(DI)は▲47.5(前期比39.5ポイント減)、また受注残判断(DI)は▲49.5(前期44.5ポイント減)となり、いずれも調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。

来期予想は売上額判断(▲55.0)、収益判断(▲47.5)、受注残判断(▲51.5)と、さらに大幅に悪化すると見通しとなっている。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は悪化、原材料価格は改善～

販売価格判断(DI)は▲7.0(前期比5.5ポイント減)となり、悪化となった。原材料価格判断(DI)は3.0(前期比6.4ポイント減)となり、改善となった。

来期予想の販売価格判断(▲6.0)は、ほぼ横ばいとの見通しとなっている。原材料価格判断(1.5)は、小幅に改善すると見通しとなっている。

資金繰り・雇用面の動き

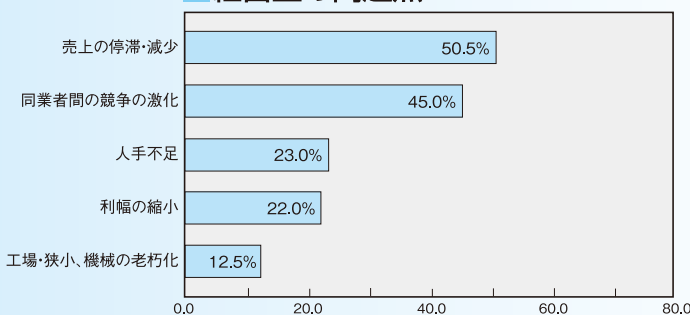
～資金繰りはかなり大幅に悪化、人手(▲9.5)は大幅に改善～

資金繰り判断(DI)は▲16.5(前期比15.5ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。

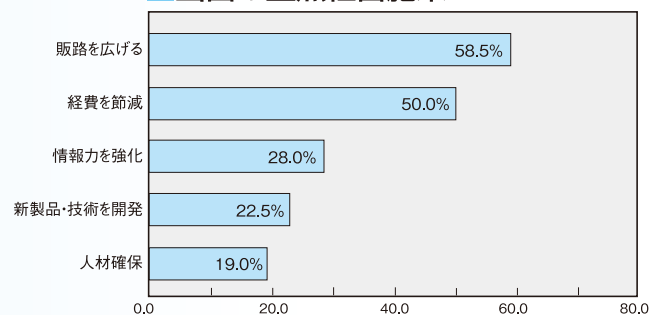
人手判断(DI)は▲9.5(前期比13.5ポイント増)となり、かなり大幅な改善となった。

人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(2.0%)→今期(6.5%)、適正とした企業の割合は前期(73.0%)→今期(77.5%)、不足とした企業は前期(25.0%)→今期(16.0%)となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

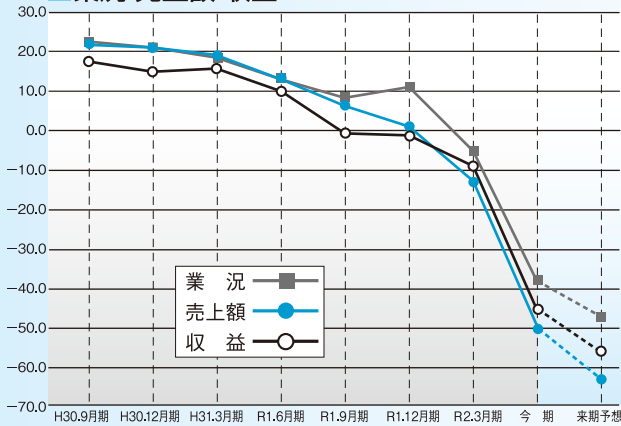


企業のコメント



- ・ 大型病院からの受注が増加。新型コロナウイルス感染拡大を受け、コロナ関連の受注が増加したことにより前期に比べ増収。(医療用機械器具製造)
- ・ 公共工事関連に使用されるボルト・ナットを製造。国内仕入れ、国内販売のため直接的な新型コロナウイルス関連の影響はない。(特殊ナット製造)
- ・ 半導体関連の受注が増加。新型コロナウイルスの影響あまりない。人員確保が急務。(プラスチック加工)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により2月より中国からの材料供給なく、4～5月の売上が前年対比50%減少。(下着製造)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、受注が減少し前月比45%減少した。(バルブ・紙・紙加工品製造)
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、イベント等中止のため受注が減少した。(印刷業)

業況・売上額・収益



金属機械工業 DI値の推移

	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	今期	来期予想
業況	22.5	21.0	18.0	13.5	8.5	1.5	-5.0	-37.5	-47.0
売上額	21.5	21.0	19.0	13.5	6.0	1.0	-12.5	-50.0	-62.5
受注残	19.5	21.0	18.5	12.5	3.0	3.5	-9.0	-50.0	-60.5
収益	17.5	15.0	16.0	10.0	-0.5	-1.0	-9.5	-45.0	-55.5
販売価格	3.0	4.0	2.5	0.5	-1.0	2.5	1.5	-4.0	-7.0
原材料価格	9.0	10.5	9.5	11.0	6.0	8.0	8.5	-1.0	-5.5
在庫	0.0	0.0	1.5	1.0	0.0	0.0	2.0	0.5	-3.0
資金繰り	7.0	6.5	7.0	7.5	6.0	3.0	-0.5	-14.0	-14.0
従業員残業時間	8.0	12.0	12.5	9.5	6.0	3.0	-1.5	-22.0	-22.0
従業員人手	-24.5	-22.0	-26.5	-25.0	-22.0	-19.0	-11.0	-10.0	-9.5
設備状況	-12.0	-13.5	-14.5	-12.5	-10.5	-12.0	12.5	-8.0	-9.0

業況について

2020年4月～6月期 ～業況は前期比32.5ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、金属機械工業の業況判断(DI)は▲37.5(前期比32.5ポイント減)となり、調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。来期は更にDIの低下を予想しており業況の悪化はさらに強まる心配が伺われる。最多納入先別の業況判断(DI)は、「大メーカー向け」(前期4.3→今期▲31.9)、「中小メーカー向け」(同▲10.7→同▲43.5)「問屋・商社向け」(同▲16.7→同▲35.7)となり、かなり大幅な悪化となった。「小売・最終需要家向け」は(同14.3→同0.0)となり大きく悪化した。来期予想でも業況判断(▲47.0)は、かなり厳しい見通しとなっている。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	14	72	108	6
良い～悪い	-75	-5	-23	-47	0
DI	-37.5	-35.7	-31.9	-43.5	0.0

売上額・収益・受注の動き

～売上額、収益、受注残ともに過去1番のかなり大幅な悪化～

売上額判断(DI)は▲50.0(前期比37.5ポイント減)、収益判断(DI)は▲45.0(前期比35.5ポイント減)、また受注残判断(DI)は▲50.0(前期比41.0ポイント減)となり、いずれも調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。来期予想は売上額判断(▲62.5)、収益判断(▲55.5)、受注残判断(▲60.5)と、依然として厳しい見通しとなっている。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は悪化、原材料価格は改善～

販売価格判断(DI)は▲4.0(前期比5.5ポイント減)となり、悪化となった。原材料価格判断(DI)は▲1.0(前期比9.5ポイント減)となり、改善となった。来期予想の販売価格判断(▲7.0)は、悪化するとの見通しとなっている。原材料価格判断(▲5.5)は、さらに改善するとの見通しとなっている。

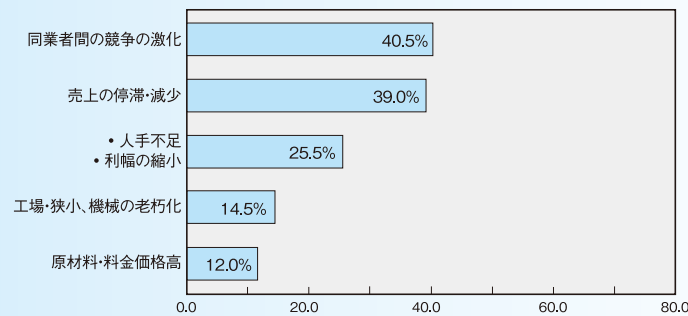
資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りは大幅に悪化、人手はわずかに改善(5四半期連続)～

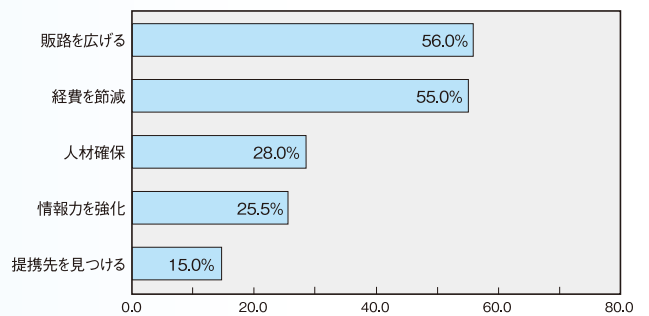
資金繰り判断(DI)は▲14.0(前期比13.5ポイント減)となり、大幅な悪化となった。人手判断(DI)は▲10.0(前期比1.0ポイント増)となり、引き続きマイナス水準ながら5四半期連続の改善となった。

人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(2.0%)→今期(3.5%)、適正とした企業の割合は前期(85.0%)→今期(83.0%)、不足とした企業の割合は前期(13.0%)→今期(13.5%)となった。

経営上の問題点



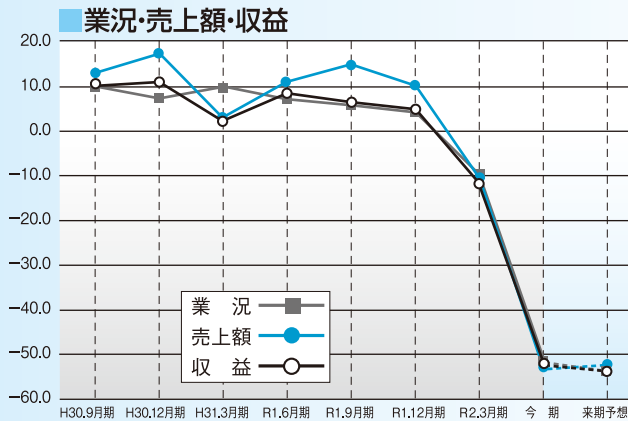
当面の重点経営施策



企業のコメント



- ・ 新型コロナウイルスの影響から、飲食チェーン店のドライブスルーが活況になり、機器の製造依頼が増加。(厨房機器製造)
- ・ 国内ポンプの需要が高まっており、受注は好調に推移している。新工場設立により生産能力は向上し今後も受注が見込まれる。(ポンプ部品・機械部品製造)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、海外子会社からの輸入は制限されたが、国内が好調で売上は前期利益の水準であった。(ボルト・ネジ製造)
- ・ 海外からの部品輸入が止まってしまった為、製造が遅れている。パート従業員も、学校の休校措置などで休業せざるを得ず、人手も不足している。(電子電器部品加工)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、海外向けが大幅な売上減少。国内においても設備投資は控えられる見通しで先行き不透明。(産業機械製造)
- ・ 現況、設備工事の延期、遅延があり多工期にズレが発生している。(電気機械製造)



### 卸売業 DI値の推移

	H30.9月期	H30.12月期	H31.3月期	R1.6月期	R1.9月期	R1.12月期	R2.3月期	今期	来期予想
業況	10.0	7.5	10.0	7.5	5.9	4.2	-10.0	-51.7	-53.3
売上額	13.3	17.5	3.3	10.8	15.0	10.0	-10.8	-53.3	-51.6
収益	10.0	10.8	2.5	8.4	6.6	5.0	-11.7	-52.5	-53.3
販売価格	9.2	7.5	7.5	3.4	2.5	5.0	-1.6	-13.3	-13.3
仕入価格	10.8	11.7	10.0	8.4	6.7	6.7	2.5	-2.5	0.0
在庫	0.8	1.7	0.0	3.3	-0.9	0.8	2.5	6.6	4.1
資金繰り	-2.5	0.9	-10.8	-3.3	-0.8	2.5	-1.7	-20.8	-19.2
従業員残業時間	5.9	2.5	2.5	6.7	4.2	4.1	-1.7	-23.4	-25.9
従業員人手	-12.5	-12.5	-8.3	-14.2	-8.4	-10.8	-3.4	2.5	0.8
設備状況	-2.5	-2.5	-2.5	-4.2	-4.2	-3.4	-2.5	-2.5	-0.9

### 業況について

#### 2020年4月～6月期 ～業況は前期比41.7ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、卸売業の業況判断(DI)は▲51.7(前期比41.7ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった(低下幅は2009年の調査開始以来最も大きい)。最多納入先別の業況判断(DI)は「中小メーカー向け」(前期▲2.3→今期▲52.4)、「小売業者向け」(同▲9.1→同▲52.8)、「大メーカー向け」(同▲23.8→同▲57.9)、「問屋・商社向け」(同▲13.6→同▲43.5)でかなり大幅な低下となっている。  
来期予想の業況判断(▲53.3)は、依然として厳しい見通しとなっている。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売業者
全体	120	23	19	42	36
良い～悪い	-62	-10	-11	-22	-19
DI	-51.7	-43.5	-57.9	-52.4	-52.8

### 売上額・収益の動き

#### ～売上額、収益ともに過去1番のかなり大幅な悪化～

売上額判断(DI)は▲53.3(前期比42.5ポイント減)となり、調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。収益判断(DI)も▲52.5(前期比40.8ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。(収益判断も前期比低下幅は調査開始以来最も大きい)  
来期予想の売上額判断(▲51.6)、収益判断(▲53.3)は、今後も厳しい状況で推移するとの見通しとなっている。

### 販売価格・仕入価格の動き

#### ～販売価格は大幅に悪化、仕入価格は改善～

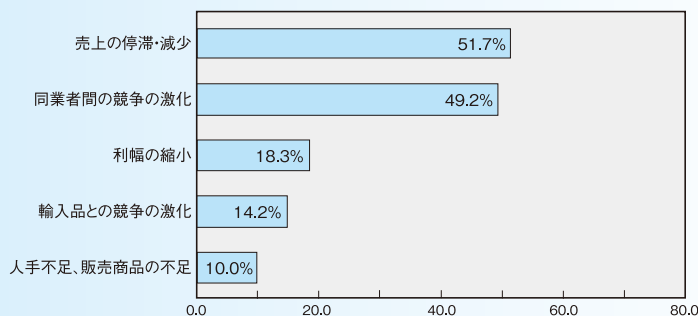
販売価格判断(DI)は▲13.3(前期比11.7ポイント減)となり、大幅な悪化となった。仕入価格判断(DI)は▲2.5(前期比5.0ポイント減)となり、改善となった。  
来期予想の販売価格(▲13.3)は、横這いの見通しとなっている。仕入価格判断(0.0)は小幅に悪化するとの見通しとなっている。

### 在庫・資金繰り・雇用面の動き

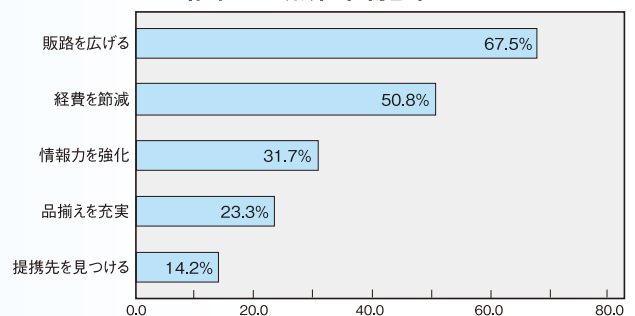
#### ～在庫は改善、資金繰りは大幅に悪化、人手は改善～

在庫判断(DI)は6.6(前期比4.1ポイント増)となり、改善となった。資金繰り判断(DI)は▲20.8(前期比19.1ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。人手判断(DI)は2.5(前期比5.9ポイント増)となり、改善となった。  
人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(3.3%)→今期(5.8%)、適正とした企業の割合は前期(90.0%)→今期(90.9%)、不足とした企業の割合は前期(6.7%)→今期(3.3%)となった。

### 経営上の問題点



### 当面の重点経営施策



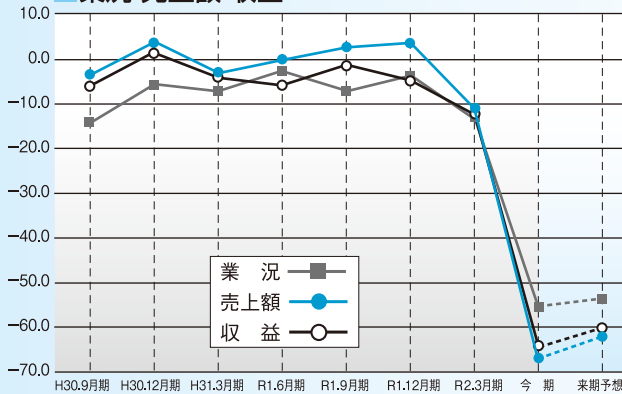
### 企業のコメント



- ・ 新型コロナウイルスの影響による売上の減退は発生したが、マスクや防護服の取扱いによってカバーできる範囲。(繊維品)
- ・ インターネット販売による利益が少しずつ出てきた。コロナウイルスの影響は特になく、寧ろ売上は増加傾向。(カーテン、レース卸)
- ・ 売上は新型コロナウイルスの影響もなく上昇している。コロナ発生で全国への出張を取止めており、そのため経費削減できて利益率アップ。(塗料)
- ・ 新型コロナウイルスの影響で中国から建設資材が輸入できず資材不足に陥った。一部で納期が遅れて売上高に影響した。(住宅設備)
- ・ 新型コロナウイルスの影響で催事の中止、チラシを打てないなど売上が大幅に減少。(肌着・ストッキング)
- ・ インバウンドで収益を上げていた地域の飲食店への卸高がほぼゼロとなった。(生鮮魚介加工卸)



### 業況・売上額・収益



### 小売業 DI値の推移

	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	今期	来期予想
業況	-14.0	-5.4	-6.7	-2.6	-6.7	-3.4	-13.3	-55.3	-53.3
売上額	-3.3	4.0	-3.3	0.0	3.4	4.7	-10.7	-66.0	-62.0
収益	-5.3	2.0	-4.7	-5.3	-1.3	-4.7	-12.6	-64.0	-60.0
販売価格	2.6	6.7	-1.3	4.6	4.0	10.0	8.0	-6.7	-6.0
仕入価格	8.0	9.3	6.0	9.3	10.7	13.3	6.0	1.3	2.7
在庫	0.0	2.6	0.7	2.0	4.0	4.7	0.0	-0.6	-2.6
資金繰り	-11.3	-9.4	-10.0	-12.0	-8.7	-7.3	-14.6	-34.7	-34.7
従業員残業時間	3.4	4.6	3.3	0.7	0.7	2.0	-0.7	-25.3	-21.3
従業員人手	-10.7	-9.4	-10.7	-10.6	-13.3	-10.0	-11.3	2.7	0.0
設備状況	-4.0	-2.0	-2.7	-4.7	-4.0	-3.3	-4.0	-3.4	-3.4

### 業況について

2020年4月～6月期 ～業況は前期比42.0ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、小売業の業況判断(DI)は▲55.3(前期比42.0ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。(前期比低下幅は2009年の調査開始以来最も大きい)

店舗立地地域別に業況判断(DI)は「駅周辺商店街」(前期▲18.6→今期▲57.6)、「住宅地隣接商店街」(前期▲14.6→今期▲51.2)でかなり大幅な悪化となった。「その他」(前期▲6.0→今期▲56.3)。来期予想の業況判断(▲53.3)は、依然として厳しい見通しとなっている。

◎店の立地地域別業況について(当期)

	合計	駅周辺商店街	住宅地隣接商店街	その他
全体	150	59	43	48
良い～悪い	-83	-34	-22	-27
DI	-55.3	-57.6	-51.2	-56.3

### 売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに過去1番のかなり大幅な悪化～

売上額判断(DI)は▲66.0(前期比55.3ポイント減)となり、調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。収益判断(DI)も▲64.0(前期比51.4ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。売上額、収益ともに前期比低下幅は調査開始(2009年)以来最も大きい。

来期予想の売上額判断(▲62.0)、収益判断(▲60.0)は、依然として厳しい見通しとなっている。

### 販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は大幅に悪化、仕入価格は改善～

販売価格判断(DI)は▲6.7(前期比14.7ポイント減)となり、大幅な悪化となった。仕入価格判断(DI)は1.3(前期比▲4.7ポイント減)となり、改善となった。来期予想の販売価格判断(▲6.0)は、ほぼ横ばいの見通しとなっている。仕入価格判断(2.7)は、小幅に悪化すると見通しとなっている。

### 資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りはかなり大幅に悪化、人手は大幅な改善～

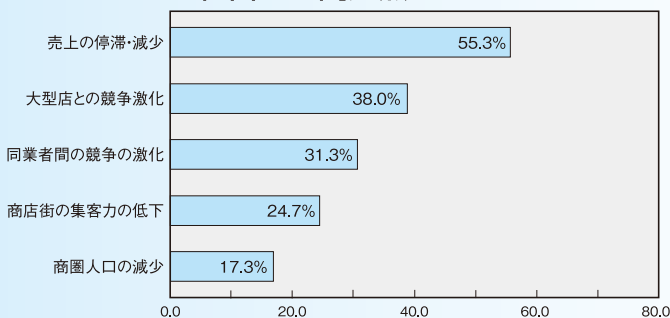
資金繰り判断(DI)は▲34.7(前期比20.1ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。(前期比低下幅は調査開始(2009年)以来最も大きい)

人手判断(DI)は2.7(前期比14.0ポイント増)となり、大幅な改善となった。(前期比上昇幅は調査開始(2009年)以来最も大きい)

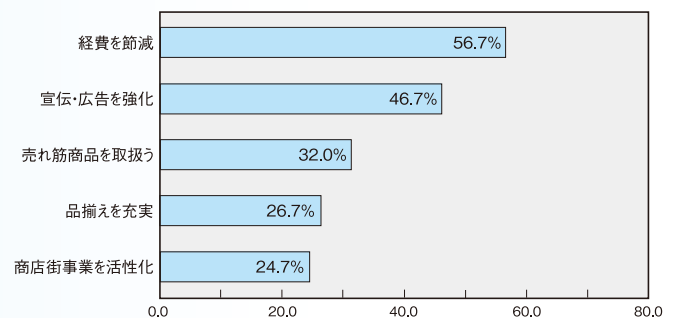
来期予想の資金繰り判断(▲34.7)は、横這いの見通しとなっている。人手判断(0.0)は、小幅に悪化の見通しとなっている。

人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(0.7%)→今期(8.0%)、適正とした企業の割合は前期(87.3%)→今期(86.7%)、不足とした企業の割合は前期(12.0%)→今期(5.3%)となった。

### 経営上の問題点



### 当面の重点経営施策

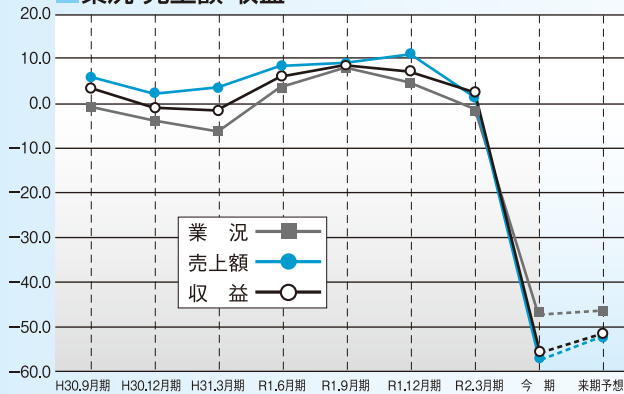


### 企業のコメント



- ・新型コロナウイルスの影響により、自宅を過ごす人が増えたことで販売は好調である。また、クレジット決済を導入した結果、客単価は増加した。(食料品)
- ・新型コロナウイルスによるインバウンドの影響で店売りは大きくダウン。ネット販売は堅調であり、ある程度売上は確保。(海鮮食品)
- ・ネット販売が主であり、現状では新型コロナウイルスに伴う影響はない。(衣類)
- ・メインのイタリアの食料品輸入が同国のコロナ感染拡大の為、輸入が殆ど出来なかった。また、営業時間短縮、休業により売上激減。(輸入品販売)
- ・新型コロナウイルスの影響で、店舗の休店や時短営業を行い売上減少。商品の値崩れも起こっており、販売には不安を抱えている。(金券類)
- ・商店街内に営業しているが、商店街の集客力が低下しており売上も厳しい状況にある。(米穀販売)

■ 業況・売上額・収益



■ サービス業 DI値の推移

	H30.9月期	H30.12月期	H31.3月期	R1.6月期	R1.9月期	R1.12月期	R2.3月期	今期	来期予想
業況	-0.5	-3.0	-5.5	4.5	8.0	5.0	-1.5	-47.0	-46.0
売上額	6.0	2.5	4.0	9.0	9.5	11.0	2.0	-57.0	-51.5
収益	3.0	-0.5	-1.5	6.5	9.0	7.5	2.5	-56.0	-51.0
料金価格	1.0	0.0	3.0	4.5	5.0	5.5	2.5	-6.0	-9.0
材料価格	4.0	5.5	6.0	4.5	8.0	9.0	7.5	-3.5	-4.5
資金繰り	-7.0	-9.5	-7.0	-3.0	-0.5	-7.0	-5.0	-30.5	-27.5
従業員残業時間	4.5	3.5	4.0	1.5	7.0	7.5	4.0	-28.0	-20.5
従業員人手	-20.5	-16.5	-24.0	-17.5	-20.5	-20.5	-18.5	-3.0	-4.0
設備状況	-7.0	-5.5	-7.1	-7.0	-5.5	-9.5	-7.5	-3.5	-2.0

業況について

2020年4月～6月期 ～業況は前期比45.5ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、サービス業の業況判断(DI)は▲47.0(前期比45.5ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。(前期比低下幅は2009年の調査開始以来最も大きい)

来期予想の業況判断(▲46.0)は、依然として厳しい見通しとなっている。

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに過去1番のかなり大幅な悪化～

売上額判断(DI)は▲57.0(前期比59.0ポイント減)となり、調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。収益判断(DI)も▲56.0(前期比58.5ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。売上額、収益ともに前期比低下幅は調査開始(2009年)以来最も大きい。

来期予想の売上額判断(▲51.5)、収益判断(▲57.0)は、依然として厳しい見通しとなっている。

料金価格・材料価格の動き

～料金価格は悪化、材料価格は大幅に改善～

料金価格判断(DI)は▲6.0(前期比8.5ポイント減)となり、悪化となった。(前期比低下幅は2009年の調査開始以来最も大きい)

材料価格判断(DI)は▲3.5(前期比11.0ポイント減)となり、大幅な改善となった。

来期予想の料金価格判断(▲9.0)は、悪化の見通しとなっている。材料価格判断(▲4.5)は、小幅に悪化の見通しとなっている。

資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りはかなり大幅に悪化、人手は大幅な改善～

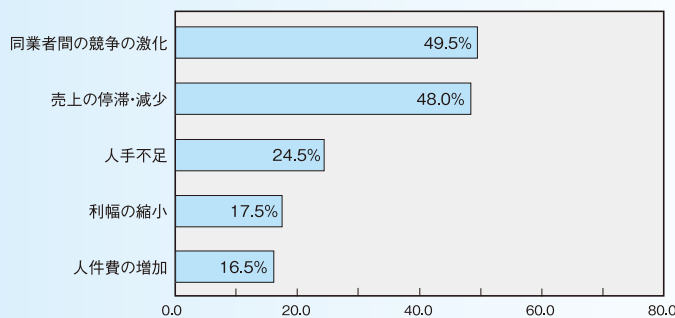
資金繰り判断(DI)は▲30.5(前期比25.5ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。(前期比低下幅は調査開始(2009年)以来最も大きい)

人手判断(DI)は▲3.0(前期比15.5ポイント増)となり、大幅な改善となった。(前期比上昇幅は調査開始(2009年)以来最も大きい)

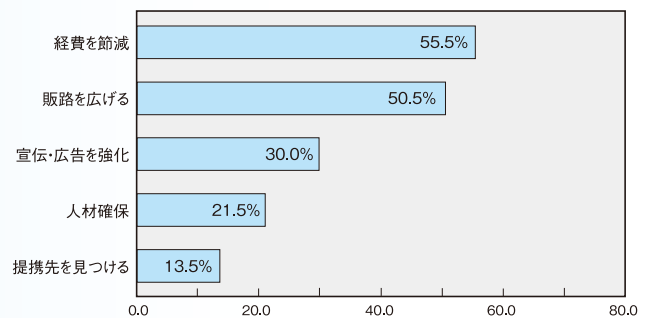
来期予想の資金繰り判断(▲27.5)は、わずかに改善の見通しとなっている。人手判断(▲4.0)は、小幅に悪化の見通しとなっている。

人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(2.5%)→今期(9.0%)、適正とした企業の割合は前期(76.5%)→今期(79.0%)、人手不足とした企業の割合は前期(21.0%)→今期(12.0%)となった。

■ 経営上の問題点



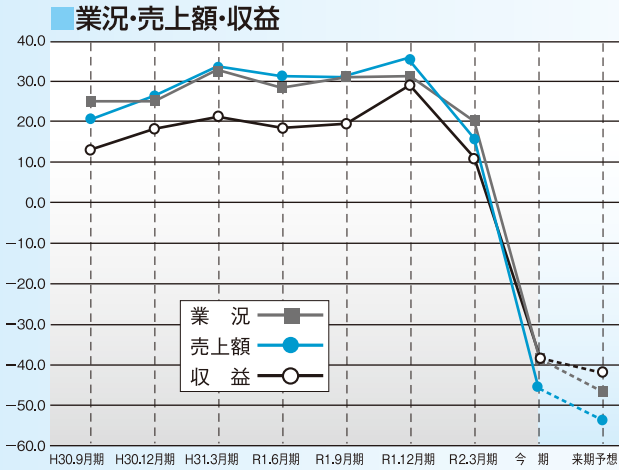
■ 当面の重点経営施策



企業のコメント



- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大により、デイサービスが稼働しなくなり、訪問介護の需要が高まっている。人材確保等課題も増加。(訪問介護)
- ・ 新型コロナウイルスの影響は大きく受けていない。看板製作、設置の受注は安定しており業況は良い。(看板製作・設置工事)
- ・ 比較的コンスタントに集客が来ていることにより、安定した売上が確保出来ている。今後も宣伝活動を強化し、新規顧客の獲得と増収増益を図る。(美容業)
- ・ 緊急事態宣言を受け、4/14～5/16までパチンコ店2店舗休業に伴い、売上、収益とも大幅減少。(パチンコ・飲食・学習塾)
- ・ 新型コロナウイルスの影響でイベントへのレンタル事業が激減。従業員も過半数を自宅待機させている。(レンタル業)
- ・ 安定していた歯科医院との取引が、新型コロナウイルスの影響により受注は減少傾向にあり、離職率の高い業種で当面不安。(歯科技工業)



建設業 DI値の推移

	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	今期	来期予想
業況	25.5	25.5	32.5	28.5	31.0	31.5	20.0	-38.0	-45.3
売上額	21.0	27.0	33.5	32.0	31.0	35.5	16.0	-45.5	-53.5
受注残	19.0	28.0	32.5	26.0	26.0	31.5	17.5	-41.0	-47.5
施工高	17.0	23.0	28.5	25.0	25.0	30.5	11.5	-33.5	-39.0
収益	13.5	19.0	22.0	19.5	20.0	29.0	11.0	-38.0	-42.0
請負価格	3.0	6.5	13.0	8.5	12.5	14.5	8.5	-8.5	-11.0
原材料仕入価格	16.0	18.0	23.5	19.5	15.5	21.0	14.5	7.5	5.0
在庫	1.0	-1.5	0.5	-0.5	1.0	2.0	0.0	-8.5	-5.5
資金繰り	1.5	-0.5	4.5	5.0	3.0	6.5	-1.0	-11.0	-12.5
従業員残業時間	14.5	20.0	21.5	17.5	14.5	14.5	10.5	-28.0	-26.5
従業員人手	-36.0	-44.0	-44.0	-40.5	-39.5	-39.0	-36.0	-18.2	-19.0
設備状況	-2.5	-5.0	-5.0	-5.0	-7.5	-5.0	-3.0	-3.5	-2.5

業況について

**2020年4月～6月期～業況は前期比58.0ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～**  
 2020年4月～6月期、建設業の業況判断(DI)は▲38.0(前期比58.0ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。(前期比低下幅は2009年の調査開始以来最も大きい)  
 請負先別の業況(DI)は「個人向け」(前期21.1→今期▲55.0)、「大企業向け」(同32.2→同▲36.7)、「官公庁向け」(同15.6→同▲38.2)、「中小企業向け」(同13.3→同▲34.9)でそれぞれ30ポイントを超えるかなり大幅な減少となった。  
 来期予想の業況判断(▲45.3)は、かなり厳しい見通しとなっている。

◎最多請負先別の業況について(当期)

	合計	官公庁	大企業	中小企業	個人
全体	200	34	60	86	20
良い～悪い	-76	-13	-22	-30	-11
DI	-38.0	-38.2	-36.7	-34.9	-55.0

売上額・収益・受注残の動き

**～売上額、収益、受注残ともに過去1番のかなり大幅な悪化～**  
 売上額判断(DI)は▲45.5(前期比61.5ポイント減)、収益判断(DI)は▲38.0(前期比49.0ポイント減)、また受注残判断(DI)は▲41.0(前期比58.5ポイント減)となり、いずれも調査を開始した2009年以降1番の低下幅で、かなり大幅な悪化となった。  
 来期予想の売上額判断(▲53.5)、収益判断(▲42.0)、受注残判断(▲47.5)、いずれもかなり厳しい見通しとなっている。

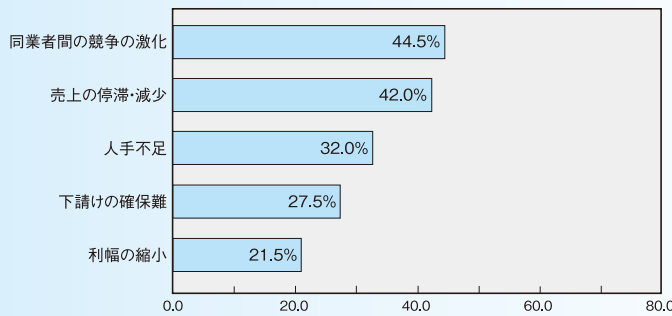
請負価格・原材料価格の動き

**～請負価格は大幅に悪化、原材料価格は改善～**  
 請負価格判断(DI)は▲8.5(前期比17.0ポイント減)となり、大幅な悪化となった。原材料価格判断(DI)は7.5(前期比7.0ポイント減)となり、改善となった。  
 来期予想の請負価格判断(▲11.0)は、小幅に悪化する見通しとなっている。原材料価格判断(5.0)は、小幅に改善する見通しとなっている。

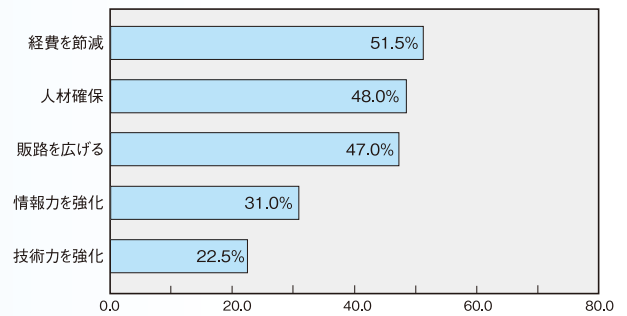
在庫・資金繰り・雇用面の動き

**～在庫は悪化、資金繰りは大幅に悪化、人手は大幅に改善～**  
 在庫判断(DI)は▲8.5(前期比8.5ポイント減)となり悪化となった。資金繰り判断(DI)は▲11.0(前期比10.0ポイント減)となり大幅な悪化となった。  
 人手判断(DI)は▲18.2(前期比17.8ポイント増)となり、マイナス水準ながら大幅な改善となった。  
 来期予想の在庫判断(▲5.5)は、改善する見通しとなっている。資金繰り判断(▲12.5)は、小幅に悪化する見通しとなっている。人手判断(▲19.0)は、ほぼ横ばいの見通しとなっている。  
 人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(2.0%)→今期(3.0%)、適正とした企業の割合は前期(60.0%)→今期(75.8%)、人手不足とした企業の割合は前期(38.0%)→今期(21.2%)となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

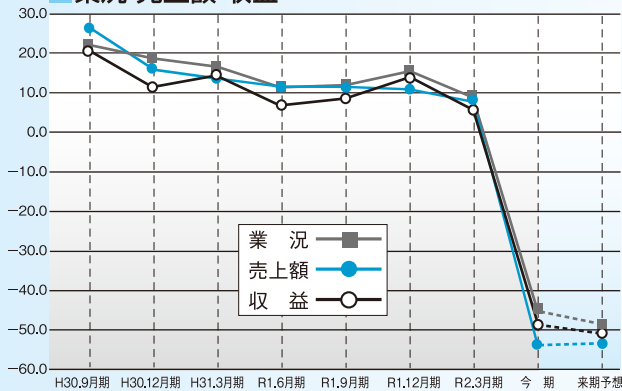


企業のコメント



- ・ 広島市の道路の保守の入札が取れている。新名神の保守工事の受注が3年単位で受注しているなど受注は安定している。(土木・水道)
- ・ マンション中心に途切れることなく受注あり。施工物件増加しており業況は上向き。(内装工事業)
- ・ 工事については公共事業や以前から決まっていた工事が多いので受注高、売上高に特に影響はなかった。(土木工事)
- ・ 新型コロナウイルスの影響を受け、工事の延期や受注の先送りが発生しており、売上げ減少が見込まれる。(建設業)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により受注のキャンセルが続き、前期と比べ売上は大幅に減少傾向にある。(リフォーム工事業)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により資材の確保が出来ず売上が一部立たない状態である。(建設業)

業況・売上額・収益



不動産業 DI値の推移

	H30.9月期	H30.12月期	H31.3月期	R1.6月期	R1.9月期	R1.12月期	R2.3月期	今期	来期予想
業況	22.3	18.4	16.9	11.5	11.6	15.4	9.2	-45.3	-48.5
売上額	26.1	15.4	13.8	11.5	11.5	10.7	7.7	-53.8	-53.1
収益	20.7	11.5	14.6	7.0	8.5	13.8	5.3	-48.5	-50.8
販売価格	10.0	7.7	12.3	8.5	9.2	11.5	6.1	-13.8	-13.1
仕入価格	25.4	23.8	26.2	29.2	27.7	29.2	16.2	-1.5	-3.8
在庫	-22.4	-19.2	-23.1	-18.4	-21.6	-16.9	-18.5	-20.8	-18.4
資金繰り	0.0	-2.3	1.6	-1.6	0.0	-4.7	-3.8	-17.0	-19.2
従業員残業時間	4.6	0.8	-0.8	3.1	0.0	1.5	3.8	-29.2	-23.1
従業員人手	-4.7	-6.2	-2.3	-2.3	-6.1	-6.9	-10.0	0.0	-2.3

◎業種内容別業況について(当期)

	全体	賃貸	建売	仲介管理
全体	130	18	81	31
良い～悪い	-59	-5	-40	-14
DI	-45.4	-27.8	-49.4	-45.2

業況について

2020年4月～6月期 ～業況は前期比54.5ポイント減のかなり大幅な悪化(過去1番)～

2020年4月～6月期、不動産業の業況判断(DI)は▲45.3(前期比54.5ポイント減)で、かなり大幅な悪化となった。2017年3月期より続いていた業況判断(DI)プラスよりマイナスとなった。

業種内容別業況では、「建売」▲49.4(前期比60.1ポイント減)、「仲介管理」▲45.2(同50.1ポイント減)、「賃貸」▲27.8(同42.1ポイント減)で、それぞれかなり大幅な悪化となった。来期予想の業況判断(▲48.5)は、かなり厳しい見通しとなっている。

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともかなり大幅に悪化～

売上額判断(DI)は▲53.8(前期比61.5ポイント減)、収益判断(DI)は▲48.5(前期比53.8ポイント減)となり、ともかなり大幅な悪化となった。

来期予想の売上額判断(▲53.1)は、ほぼ横ばいに推移する見通しとなっている。収益判断(▲50.8)は、小幅に悪化する見通しとなっている。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格はかなり大幅に悪化、仕入価格はかなり大幅な改善～

販売価格判断(DI)は▲13.8(前期比19.9ポイント減)となり、かなり大幅な悪化となった。仕入価格判断(DI)は▲1.5(前期比17.7ポイント減)となり、かなり大幅な改善となった。

来期予想の販売価格判断(▲13.1)は、ほぼ横ばいに推移する見通しとなっている。仕入価格判断(▲3.8)は、小幅に改善する見通しとなっている。

在庫・資金繰り・雇用面の動き

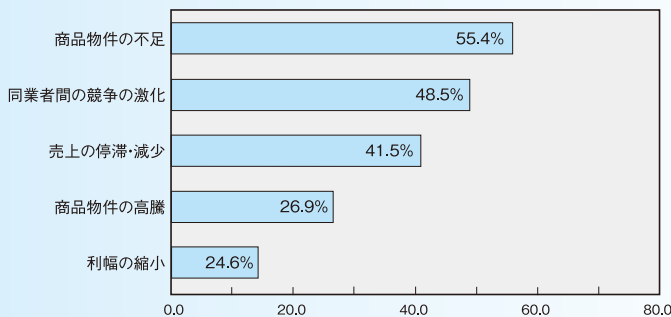
～在庫は小幅に悪化、資金繰りは大幅に悪化、人手は大幅な改善～

在庫判断(DI)は▲20.8(前期比2.3ポイント減)となり、小幅な悪化となった。資金繰り判断(DI)は▲17.0(前期比13.2ポイント減)となり、大幅な悪化となった。人手判断(DI)は0.0(前期比10.0ポイント増)となり、大幅な改善となった。

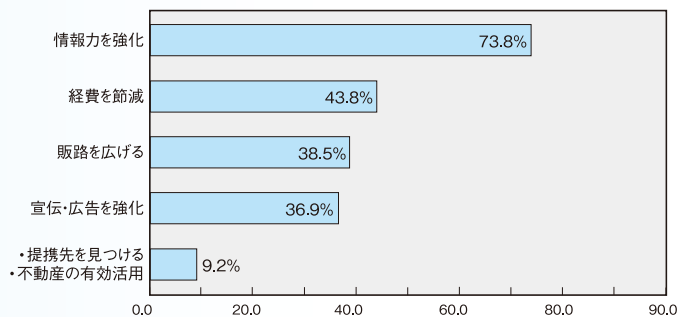
来期予想の在庫判断(▲18.4)は、小幅に改善する見通しとなっている。資金繰り判断(▲19.2)は、小幅に悪化する見通しとなっている。従業員人手判断(▲2.3)は、小幅に悪化する見通しとなっている。

従業員人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期(0.0%)→今期(2.3%)、適正とした企業の割合は前期(90.0%)→今期(95.4%)、人手不足とした企業の割合は前期(10.0%)→今期(2.3%)となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策



企業のコメント

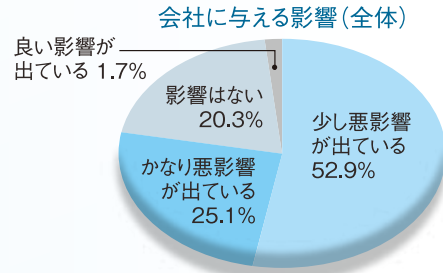
- ・新型コロナウイルスの影響で不足していたトイレ、IHコンロ等も戻っており、物件の引渡し遅れもなくなった。(分譲住宅・注文住宅)
- ・物件は企業の従業員の寮として貸しており、新型コロナウイルスの影響もなく、家賃も問題なく入金されており家賃回収に不安はない。(不動産賃貸)
- ・今、家を建てても売りにくいいため、土地の購入も控えている。(不動産売買)
- ・新型コロナウイルスの影響を受けて、風呂やトイレといった設備機器の納入が大幅に遅れた為、竣工に時間を要した。(不動産売買)
- ・新型コロナウイルスの影響で入居テナントや管理テナントの店子から家賃の一時的な支払猶予の相談が数件あった。(不動産賃貸)
- ・商品土地の仕入価格は下落傾向だが、購入希望客の回復が予測できず、現状では動かず。(不動産売買)

今回の北おおさか信金景気動向特別調査は「新型コロナウイルス感染拡大の業績への影響について」をテーマにアンケート調査を行いました。調査期間は2020年6月1日～5日。調査対象は北大阪を中心とする地元企業1200社で、有効回答は1197社（有効回答率99.8%）。

## 「新型コロナウイルス感染症」が貴社に与える影響について

～「新型コロナウイルス感染症」が業績に悪影響が出ているとの回答が多数を占める～

事業活動の中で「新型コロナウイルス感染症」が業務遂行上の妨げとなる悪影響を受けているかを聞いたところ、「少し悪影響が出ている・かなり悪影響が出ている」の回答で、調査企業の78.0%が「悪影響が出ている」と高い結果となった。その他「影響はない」が20.3%、「良い影響が出ている」が1.7%の結果となった。



### 新型コロナウイルス感染症が会社に与える影響

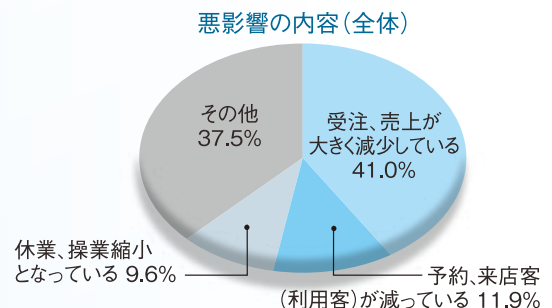
全体	項目	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
52.9%	少し悪影響が出ている		51.3%	52.3%	45.0%	47.3%	47.0%	62.0%	65.1%
25.1%	かなり悪影響が出ている		25.1%	18.1%	33.3%	38.0%	31.0%	16.5%	17.8%
20.3%	影響はない		21.6%	29.1%	20.8%	11.3%	17.5%	21.5%	17.1%
1.7%	良い影響が出ている		2.0%	0.5%	0.8%	3.3%	4.5%	0.0%	0.0%

※調査は2020年6月(小数点第2位以下四捨五入)

## 「悪影響が出ている」の影響の内容について

～「受注・売上が大きく減少している」、「予約・来店客(利用客)が減っている」が多数を占める～

悪影響が出ていると回答した事業先について、その内容を聞いたところ、「受注・売上が大きく減少している」が全体で41.0%、業種別には金属加工業(51.0%)、卸売業(48.4%)、製造業(48.0%)、建設業(41.6%)と其々高く影響しているとの回答であった。次に「予約・来店客(利用客)が減っている」が11.9%で、業種的にはサービス業(25.4%)、小売業(24.3%)と顕著であった。悪影響の上位1位、2位で全体の52.9%を占める結果となった。



### 悪影響の内容(複数回答の割合)

全体	項目	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
41.0%	受注、売上が大きく減少している		48.0%	51.0%	48.4%	36.0%	30.4%	41.6%	35.4%
11.9%	予約、来店客(利用客)が減っている		3.6%	1.0%	3.8%	24.3%	25.4%	3.7%	17.1%
9.6%	休業、操業縮小となっている		6.9%	8.0%	5.7%	11.7%	13.8%	10.6%	7.6%
9.3%	製品、部品、原材料等の調達が出来ない		11.7%	14.0%	9.6%	4.6%	0.7%	13.5%	14.6%
8.8%	多数のキャンセルが発生して業績に影響している		9.7%	7.5%	10.8%	4.2%	12.0%	9.8%	7.0%
5.9%	イベント、集会等の自粛、縮小等の影響を受けている		8.1%	2.0%	8.3%	9.2%	6.9%	2.9%	3.2%
4.9%	サプライチェーンに影響を受けている		7.3%	8.0%	5.7%	2.1%	1.4%	5.7%	5.1%
2.2%	原材料費が高騰している		2.4%	3.0%	2.5%	0.8%	0.0%	5.3%	1.3%
1.4%	事業の継続が難しい		0.8%	1.5%	0.6%	2.9%	2.2%	0.4%	0.6%
0.7%	訪日外国人旅行者の減少が業績に大きく影響している		0.0%	0.0%	1.9%	0.8%	1.8%	0.0%	0.0%
0.1%	一部、社員(従業員)を解雇した		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.6%
0.1%	入国制限強化で海外からの技能実習生が来ない		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
0.0%	内定の取り消しをした		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4.2%	その他		1.6%	4.0%	2.5%	3.3%	5.1%	5.7%	7.6%

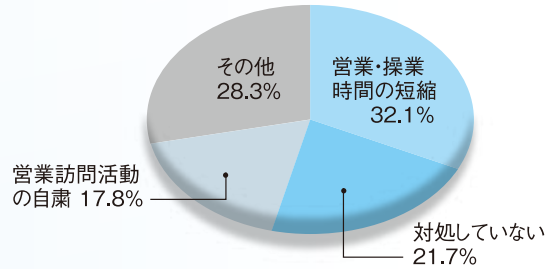
※調査は2020年6月(小数点第2位以下四捨五入)

**特別措置法に基づく「緊急事態宣言」の発令により、貴社ではどのように対処しましたか**

～対処として「営業・操業時間の短縮」が1番の対処となる～

「緊急事態宣言」の発令を受け、感染拡大防止の観点から活動の自粛を図る対処として「営業・操業時間の短縮」が最も多く全体の32.1%で、他、「営業訪問活動の自粛(17.8%)」、「時差出勤の実施(11.8%)」を含めて全体の約61.7%となる結果となった。また、「店舗・工場の休業」では5.6%にとどまった。なお、「対処していない」が21.7%となった。

「緊急事態宣言」発令による対処(全体)



■「緊急事態宣言」発令による対処(複数回答の割合)

全体	項目	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
32.1%	営業・操業時間の短縮		30.0%	36.9%	25.1%	41.5%	34.2%	30.8%	23.5%
21.7%	対処していない		18.6%	24.3%	16.6%	24.5%	20.5%	24.0%	23.5%
17.8%	営業訪問活動の自粛		18.6%	16.7%	24.0%	11.7%	12.9%	21.7%	20.5%
11.8%	時差出勤の実施		16.8%	13.3%	17.7%	3.7%	8.7%	9.5%	12.7%
9.1%	在宅勤務の実施		6.4%	5.3%	9.7%	4.3%	12.5%	11.0%	15.7%
5.6%	店舗・工場の休業		7.1%	3.0%	3.4%	11.7%	9.1%	1.5%	3.6%
1.8%	イベント開催の自粛		2.5%	0.4%	3.4%	2.7%	1.9%	1.5%	0.6%

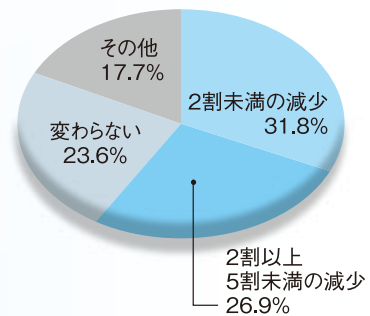
※調査は2020年6月(小数点第2位以下四捨五入)

**貴社の4月～6月の売上高は前年同期と比べておよそどのようになりましたか**

～売上5割未満の減少が全体の6割弱となる～

4月～6月の売上高で対前年同期比でどうであったか聞いたところ、全体で「2割未満の減少」が31.8%、「2割以上5割未満の減少」が26.9%で合わせて58.7%となった。他、「5割以上8割未満の減少」が10.3%で、「8割以上の減少」が2.8%となった。全体で減少と回答したものは71.8%となった。なお、「変わらない」が23.6%。また、「増加した」が4.7%の結果となっている。

4月～6月売上高の前年同期比(全体)



■4月～6月売上高の前年同期比

全体	項目	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
31.8%	2割未満の減少		35.2%	34.5%	29.4%	22.0%	28.0%	36.0%	35.7%
26.9%	2割以上5割未満の減少		26.1%	26.5%	29.4%	29.3%	24.5%	29.0%	24.0%
23.6%	変わらない		23.6%	29.0%	21.8%	16.7%	19.5%	26.5%	26.4%
10.3%	5割以上8割未満の減少		10.6%	3.0%	8.4%	21.3%	15.0%	5.0%	10.9%
4.7%	増加した		4.5%	5.0%	8.4%	4.0%	7.0%	3.5%	0.0%
2.8%	8割以上の減少		0.0%	2.0%	2.5%	6.7%	6.0%	0.0%	3.1%

※調査は2020年6月(小数点第2位以下四捨五入)

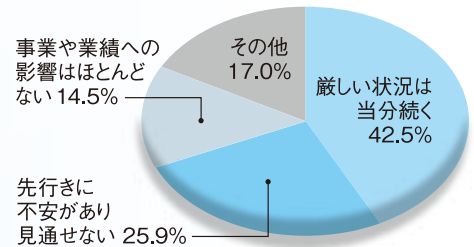


## 貴社は今後1年間の事業や業績についてどのような見通しをしていますか

～「厳しい状況は当分続く」、「先行きに不安があり見通せない」が全体の7割弱の見通し～

今後1年間の事業や業績の見通しを聞いたところ、全体で上位5位のうち、「厳しい状況は当分続く」が42.5%で1位、2位が「先行きに不安があり見通せない」で25.9%。合わせて68.4%となった。3位が「事業や業績への影響はほとんどない」で14.5%の結果となった。他、「反動で消費は持ち直すとみている」(8.3%)、「業績は改善すると楽観視している」(5.7%)とつづく結果となった。また、小売業、サービス業で「このままだと廃業を考えざるを得ない」と「休業・操業の縮小を考えている」が少数の回答があった。

今後1年間の事業や業績の見通し(全体)



### ■今後1年間の事業や業績の見通し

全体	項目	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
42.5%	厳しい状況は当分続く		42.7%	38.0%	44.2%	54.7%	40.0%	40.0%	41.4%
25.9%	先行きに不安があり見通せない		27.1%	30.5%	30.8%	17.3%	24.5%	28.5%	20.3%
14.5%	事業や業績への影響はほとんどない		13.1%	19.0%	14.2%	9.3%	16.0%	13.5%	15.6%
8.3%	反動で消費は持ち直すとみている		7.5%	6.0%	3.3%	13.3%	8.0%	8.5%	11.7%
5.7%	業績は改善すると楽観視している		7.5%	4.5%	5.0%	2.7%	5.5%	7.5%	6.3%
1.0%	資金繰が悪化し目途がたたない		0.5%	1.0%	0.8%	0.0%	2.5%	0.5%	1.6%
0.7%	このままだと廃業を考えざるを得ない		0.0%	0.5%	0.8%	1.3%	1.5%	0.0%	0.8%
0.5%	休業・操業の縮小を考えている		0.5%	0.0%	0.0%	1.3%	1.0%	0.0%	0.8%
0.9%	その他		1.0%	0.5%	0.8%	0.0%	1.0%	1.5%	1.6%

※調査は2020年6月(小数点第2位以下四捨五入)

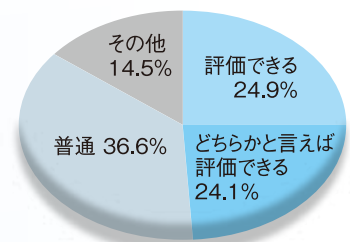


## 貴社は、政府の「新型コロナウイルス感染症」対策についてどのように思われますか

～「評価できる」が全体で5割弱、「評価できない」が1割の結果～

政府の「新型コロナウイルス感染症」対策の事業支援施策等について聞いたところ、「評価できる」が24.9%、「どちらかと言えば評価できる」が24.1%で「評価できる」として49.0%となった。また、「あまり評価できない」が9.4%、「全く評価できない」が1.8%で「評価できない」として11.2%となった。「普通」との回答は36.6%の結果となった。

政府の「新型コロナウイルス感染症」対策について(全体)



### ■政府の「新型コロナウイルス感染症」対策について

全体	項目	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
36.6%	普通		30.2%	40.0%	35.0%	45.0%	34.0%	41.0%	30.2%
24.9%	評価できる		30.2%	22.0%	21.7%	16.8%	27.0%	21.0%	36.4%
24.1%	どちらかと言えば評価できる		24.6%	22.0%	21.7%	24.2%	26.0%	27.0%	20.9%
9.4%	あまり評価できない		11.6%	11.0%	15.8%	6.0%	8.0%	6.5%	8.5%
1.8%	まったく評価できない		2.0%	2.0%	1.7%	0.7%	1.5%	2.5%	1.6%
3.3%	わからない		1.5%	3.0%	4.2%	7.4%	3.5%	2.0%	2.3%

※調査は2020年6月(小数点第2位以下四捨五入)

# 地域密着を信条とした67か店のネットワーク

## 店舗のごあんない

### 北おおさか信用金庫 店舗配置図



※地図はイメージです。

#### 店外 ATM

- ◆吹田市水道部出張所
- ◆吹田市役所出張所
- ◆JR吹田駅前さんくす出張所
- ◆イズミヤ千里店出張所
- ◆メロウド吹田出張所
- ◆フレンドマート岸辺出張所

- ◆千里丘駅出張所
- ◆イオン高槻店出張所
- ◆イオンフードスタイル摂津富田出張所
- ◆アクトアモール出張所
- ◆関西スーパー西冠店出張所
- ◆サボイ出張所
- ◆マルサス宮田店出張所

- ◆コープ島本出張所
- ◆イオン茨木ショッピングセンター出張所
- ◆イオンスタイル新茨木出張所
- ◆小曽根出張所
- ◆関西スーパー瑞光店出張所
- ◆三国商店街出張所
- ◆神崎川駅前出張所

- ◆毛馬出張所
- ◆イオンモール大日出張所
- ◆大池出張所
- ◆庄内栄町出張所
- ◆ららぽーとEXPOCITY店出張所
- ◆旭丘出張所
- ◆相川出張所

- ◆茨木市役所出張所
- ◆塚本駅前出張所
- ◆ピエラ岸辺健都出張所
- ◆江口出張所
- ◆此花出張所
- ◆江坂出張所
- ◆みのおキューズモール出張所

#### 営業地域(地区別)

大阪府：大阪市、茨木市、高槻市、吹田市、豊中市、箕面市、池田市、守口市、門真市、摂津市、寝屋川市、大東市、東大阪市、枚方市、八尾市、交野市、四条畷市、堺市、松原市、三島郡、豊能郡  
 兵庫県：尼崎市、伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市、川辺郡  
 京都府：向日市、長岡京市、乙訓郡大山崎町

発行日 2020年7月27日  
 発行 北おおさか信用金庫 総合企画部  
 住所 〒567-8651 茨木市西駅前町9-32  
 電話 072-623-4981(代)  
 ホームページ <https://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>  
 編集 株式会社 大阪彩都総合研究所

